

越谷ファミリータウン シルバークラブ30周年記念誌

目 次

シルバークラブ会長挨拶	2
自治会会長挨拶	2
管理組合理事長挨拶	2
シルバークラブ創設者代表寄稿	3
シルバークラブ相談役寄稿	3
埼玉県老人クラブ連合会広報委員寄稿	3
30周年記念式典・祝賀会	4
シルバークラブの活動	
1. 親睦活動	
1-1. 月例サロン	5
1-2. 世代間交流会	5
1-3. 親睦旅行	
・宿泊旅行・日帰り旅行	6
2. 友愛実践活動	6
3. 趣味のサークル活動	7
4. 社会奉仕活動	
4-1. 学童見守りパトロール	8
4-2. ことぶき募金	8
4-3. 近隣清掃	8
5. 自治会行事に参加	9
6. 越老連行事に参加	9
7. 健康づくり大学に参加	9
8. 地域活動に協力	9
9. 広報誌の発行	9
10. 各種記録データ	10
10-1. タウン内年齢構成グラフ	
10-2. シルバークラブ会員数の推移	
10-3. 各種活動記録	11
11. 編集後記	11
タウン内活動のしくみとサポート	12



シルバークラブ会長挨拶

会長 山田 瑞江



シルバークラブは昭和60年10月越谷ファミリータウン・シルバークラブの名称で創立されて本年度30周年の記念すべき年を迎えました。この間本会の運営にあたり歴代の役員はじめ会員の皆様のご尽力に深く敬意を表し、感謝を申し上げます。年月の経過と共に増え続けて来ましたが会員数は現在106名の大きな組織になっています。家族形態が変わって参りました現在、殆どの会員の方が一人暮らし又は高齢者のみの世帯です。シルバークラブの活動を支えていく為には60歳～75歳の若手会員の増加が望まれます。組織が大きくなれば役員の負担も大きくなります。30周年を機会に、これからは役員の任務もスリムにして、皆様で楽しむ活動と地域に貢献できる活動を展開して行きたいと思っています。タウン在住の皆様には、色々な柵から解放された時、地域にとけこむ手段として考えていただければ嬉しいです。これからも趣味のサークル活動が会員の皆様の「生きがい」に、友愛活動で「安心」の余生、月例サロンで沢山の方々との「交流」。この三本柱を中心に、会員の皆様と共に「今」を大切に歩んで40周年につなげていく所存です。よろしくお願い申し上げます。

自治会 会長挨拶

会長 岩男 義明



シルバークラブ創立30周年、誠におめでとうございます。シルバークラブは、会員相互の親睦と融和、健康保持と教養の向上、福祉の増進、明るく住みよい街づくりを目的として創立されました。この目的に沿って活動されてきた結果、創立当時の50名が30年間で106名と倍増し、月例サロンや趣味のサークルなど活発に活動が行われていることは、大変素晴らしいことと思います。また、シルバークラブには、自治会の夏祭りや文化祭などのイベント、清掃、花植え、資源回収などの日常活動にも積極的に参加いただき大変感謝しています。今や、シルバークラブは自治会活動になくはない存在となっています。日本人の平均寿命は世界一ですが、重要なのは健康寿命です。高齢化が進み、また一人住まいの方が増えていますが、シルバークラブの種々の活動は、健康寿命の延びに大いに貢献していると思います。今後のシルバークラブの益々の発展をお祈りします。

管理組合 理事長挨拶

理事長 越谷 清一



シルバークラブ30周年、おめでとうございます。私が初めて自治会役員を経験したのが平成元年で、その当時から諸先輩達がしっかり運営している組織という印象がありました。当然、皆さんがそれぞれの生活環境、それぞれの社会環境の中で歳を重ねてきているわけですから、まとまりのある組織になることは至難の業と思いますが、ファミリータウン・シルバークラブは、会員それぞれの個性を生かしながらも「和」を十分保っている素晴らしい組織と思います。特に月例サロン、隣人会、趣味のサークルなど集会室が不足していると思えるほどシルバークラブ会員を中心にした活発な活動は、ファミリータウン全体の活力にもつながっていると感じています。これから、さらに高齢化が進み会員も増加する中、元気で生き活きた生活の場の提供と、心と体も弱くなった方への助け合い、支えの存在として、シルバークラブの益々の活躍を祈念いたします。

シルバークラブ創設者代表寄稿

元自治会長 青木 正則



30周年おめでとうございます。“継続は力なり”設立以来今日迄、会の運営に努力された皆様に心より御礼申し上げます。31年前、私が自治会の総務を担当し、会の必要性を考え自治会役員と、当時の関係者と準備会を設立し、昭和60年10月20日にシルバークラブが誕生いたしました。以来30年、歴代の会長・役員の皆様の情熱が今日の会の姿へ、大きく発展へと続いたものと確信いたしております。少子高齢時代に突入した現在、歳だからと引退することなく、貴重な経験を活かし新しい時代を担う必要があるものと思います。創立当時を考えますと、理想の会へと発展した現在が夢のように思えます。

今後共益々の発展と、会員の増加を計り大きな新組織へと展開されますようお祈り申し上げます。最後に設立以来今日までに鬼籍に入られた方々のご冥福をお祈り申し上げます。

シルバークラブ相談役寄稿

元会長 増淵 充子



シルバークラブ設立30周年、誠におめでとうございます。

昭和60年に、有志の方々により「シルバークラブ（老人会）」が設立されました。早速、越谷市老人クラブ連合会（越老連）に登録されて、越老連の色々な行事に参加し、最近は会員各位の熱意ある活動により、県老連、越老連から当シルバークラブが注目されるようになりました。私は、発足時50歳台で会計を担当、初代会長の大槻氏の指示のもと、会計報告書の作成作業で冷や汗を流したことが懐かしく思い出されます。その後、平成7年会長になり延べ10年間任に当たりました。現在越老連の女性部会の役員になり、勉強させて頂いております。衆知のとおりシルバークラブは、自治会の下部組織で任意加入ですが、60歳以上の居住者数の10%に満たない会員数で低迷しておりました。然し漸く100名を超え、一段と高齢化が進み、更に増加する事は間違いありません。タウン居住者の生活は、高齢者の増加で多様化しています。シルバークラブの会員として「健康で楽しい暮らし」「情報化社会のなかでの絆が大切」と思っています。

埼玉県老人クラブ連合会広報委員寄稿

彩愛クラブ埼玉 編集委員 北山 隆司

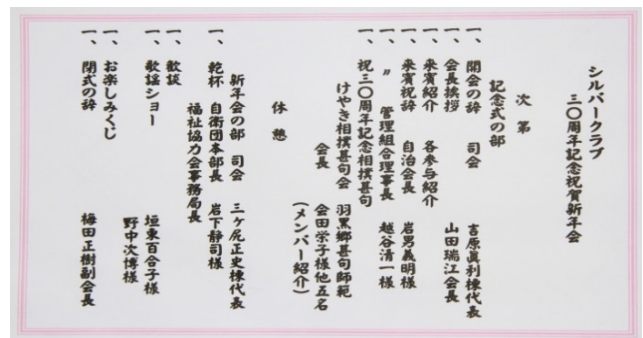
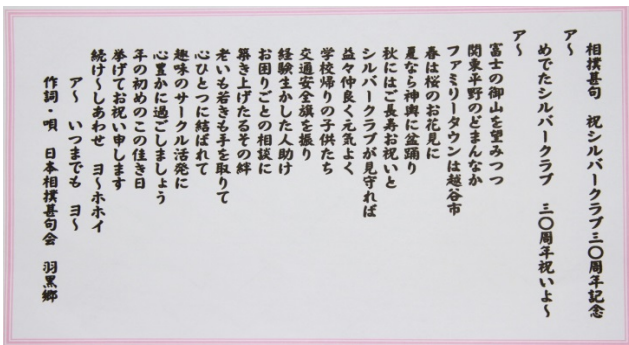
貴クラブが創立30周年を迎えられた由、心からお祝い申し上げます。

さて、小生はこの度、30周年記念誌に貴クラブの印象を寄稿してほしいとの依頼を頂き、筆をとりました。昨年8月、山田会長ほか役員の皆様と懇談し、印象に残ったことは、貴クラブが時代の要請に応え、一方では会員のニーズを的確に把握し、創意工夫をしているクラブを次の通り運営されてきたことです。それだからこそ、クラブ自体も輝き、会員も増加するのですね。

- ① 前例にとらわれず、会員のニーズに応え、クラブの方針を策定していること。
20種類の趣味のサークル活動は良い例です。
 - ② 自治会等と連携し、社会奉仕活動等を行っていること。クラブの安定的維持には不可欠です。
3世代交流の月例サロン、学童見守りパトロールは良い例です
 - ③ 急激な高齢化に対応し友愛活動を行っていること。住民の高齢化対策は不可欠と考えています。
 - ④ 会員の希望する行事を取り入れること。敬老会、夏祭り、グラウンドゴルフも良い例です。
- 老人クラブの活動は、時代の要請を受け、今後も変化し続けると思います。
目指せ、特色あるクラブ創り！ 貴クラブの更なる発展を祈念しております。

30周年記念式典・祝賀会

祝賀会は、平成28年1月24日（日）午前11時に予定通り開催する事が出来ました。晴天にも恵まれ、今迄で最高の82名の参加となり、座席の設営に苦慮するほど大盛況でした。式典の部は、司会の吉原眞利シルバークラブA棟代表の開会のことばで始まり、山田瑞江シルバークラブ会長の挨拶に続き、ご来賓代表として岩男義明自治会長、越谷清一管理組合理事長から30周年記念に寄せての祝辞を頂きました。続いて記念式典に相応しい、けやき相撲甚句会、羽黒郷様他6名の方々によるドスコイの囃子詞で、相撲甚句を祝シルバークラブ30周年記念の替え歌でご披露して頂きました。新年会の部の司会は、三ヶ尻正史シルバークラブB棟代表に担当して頂きました。開演にあたり、ご挨拶と乾杯の音頭を岩下静司自衛団本部長にお願いし、祝宴が開始されました。暫くの間、お弁当や各種飲み物と心づくしの料理をご賞味頂き、歓談頂きました。余興に入り歌謡ショーとして、カラオケ同好会の垣東百合子シルバークラブ参与と野中次博シルバークラブ理事に自慢ののどを披露して頂き、皆様より拍手喝采を浴びました。引き続き、その場で当たる「スクラッチくじ」が配られ各自が削って当選を確認。「当たった」との声も上がり大いに盛り上がりました。閉会のことばを梅田正樹シルバークラブ副会長にお願いし、最後に三本締めで予定の午後2時に祝賀会を無事終了する事が出来ました。



山田会長ご挨拶



岩男自治会長ご祝辞



越谷管理組合理事長ご祝辞



けやき相撲甚句会の皆さん



乾杯でスタート



会場は82名の超満員



ファミリータウンの森進一



ファミリータウンの歌姫



記念品はLED付き拡大鏡

◆シルバークラブの活動

1. 親睦活動

1-1. 月例サロン

月例サロンは、会員の親睦、情報交換、健康福祉の研修等、会員外希望者も参加可能で、四季折々の行事も併合開催しています。月例サロンは、県老連主催の「健康づくり大学」卒業生有志が企画し、10年前にスタートしました。その後、越谷市社会福祉協議会（社協）の「ふれあいサロン」に登録し、会員の教養向上を目指して、毎月講師（スピーカー）を招き継続していました。ところが参加者が段々少なくなってしまう、会員相互のコミュニケーションを重視した内容に変更し、現在の月例サロンになりました。しかしその結果、社協からの活動補助金に沿わない面も出て来たので、数年前に社協登録を休部扱いにし、シルバークラブのメイン事業として継続させています。

サロンは毎月第3水曜日に開催しています。忘年会、新年会、花見会は日曜日に開催しています。内容は、女性を中心に時には男性にも協力をいただいている会食会です。2月は映画会、5月は勉強会を開催して、教養を高めています。人気のある月の参加者は50名を超えています。裏方さん達は大変ですが、参加された方々のお顔を見てると心が和やかになります。当クラブの誇れる交流事業です。これからも実り多い活動として改善を重ねて継続していきます。

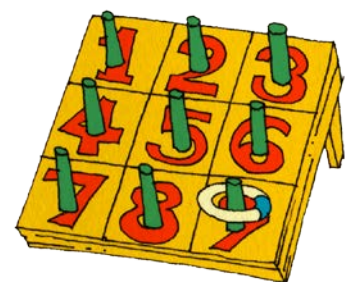


1-2. 世代間交流会

夏休み中の1日を小学生の皆さんと一緒に過ごし、思い出を作ってくださいと、シルバークラブの皆さんの顔を知ってもらうことを目的に平成25年度より8月の月例サロンを世代間交流会として開催しています。内容は昼食会とゲーム遊びです。

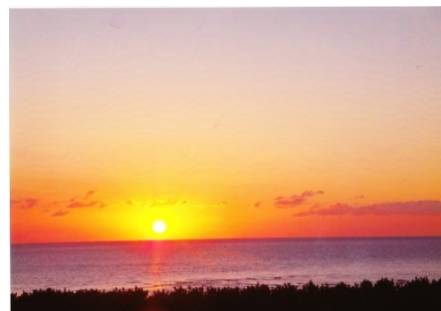
パンに野菜、ハム、ツナ、玉子を挟んだサンドイッチを各自が作り、会食後はグループに分かれて、輪投げ、ダーツ、坊主めくりのゲームを楽しみ、順位を競います。

今年度の参加者は応援の方々も含めて会員23名、育成会4名、子ども会16名の3世代合計43名でした。まだ手探り状態の活動ですが、これからも時代に合わせた内容に工夫改善し、3世代間の交流を更に深めていきたいと考えています。



1-3. 親睦旅行

親睦活動「ふれあいの集い」と、会員の健康保持増進を図る目的で宿泊旅行（毎年秋に1回）と日帰り旅行（年2回）を実施しています。宿泊旅行については、歴史が古く、シルバークラブ設立以来毎年実施し30回を迎えました。越谷市国民健康保険保養施設の利用（国保加入対象者に1泊2,500円の助成金）や周辺の名所観光付、送迎バス付等、安い料金のところが好まれていましたが、最近の傾向としては、多少料金が高くとも旅館設備の充実と料理の美味しいグレードの高いお宿が好まれています。会員の増強に伴い、お陰様で宿泊旅行は4年前から参加者が20名以上に増えて、旅行担当としては大変嬉しい事です。今年度は、参加者22名でした。関興寺を見学し、寺泊岬温泉「ホテル飛鳥」から見た日本海に沈む夕日が最高に綺麗でした。翌日寺泊中央水産で海産物の買物後に弥彦山頂で佐渡島を見て来ました。来年度以降も、多くの皆様のご参加よろしくお願い致します。



日本海の夕日

【宿泊旅行】



H25年 銚子犬吠埼



H26年 越後湯沢



H27年 弥彦山頂

【日帰り旅行】



H24年 群馬ブドウ狩り



H25年 成田山初詣



H26年 大井松田

2. 友愛実践活動

シルバークラブの友愛活動は、一人暮らし及び高齢者の孤独感の解消や生きがいを促進するための福祉活動です。会員の中で、病弱、高齢の為、当クラブの諸活動に参加出来る方と出来ない方にそれぞれの友愛活動を行っています。活動に参加できる方には、友愛チームを編成して「声かけ」「話し相手」「安否確認」等の活動を実践しています。内容は元気な会員がサポーターになって、活動に参加は出来てもサポートの必要な方に「思いやりの心」を持ってサポートしています。



この事業は越老連で2010年度から始まり現在も続いています。当クラブも当初から参加しています。実践報告書を提出することで活動支援金をいただいています。活動に参加出来ない方にはシルバークラブ独自の年末友愛訪問を実施しています。ご家庭を訪問して近況を伺い、翌年も穏やかに過ごされて又お会いできることを楽しみに活動しています。

3. 趣味のサークル活動

趣味のサークルは、平成21年からシルバークラブの1事業として会員増強に繋がりたい思いでスタートし、既に活動していたサークルにも参画いただき、積極的に推進してきました。

3人寄ればサークルが作れる、継続運営に必要な世話人と会計を設ける、会計報告なし、強制的な役割分担のお願いはしない等自主運営を基本にしました。スタートしてから6年が過ぎ、現在20サークル、延べ参加人数267名が活動しています。

これらサークル活動が発展し定着してきたのは、それぞれの世話人と関係者の努力の賜物です。この間、シルバークラブに入会

された方も沢山います。これからも色々な趣味のサークルを立ち上げて、一人でも多くの方が、余暇を楽しみ、健康寿命を延ばしていただく事を願っています。

各サークルの世話人と関係者に感謝すると共に、引き続きサークル運営にご協力をお願い致します。



趣味のサークルに参加して、楽しい時間を過ごしませんか

サークル名	活動内容	定例活動日時	サークル名	活動内容	定時活動日時
キーボード	月2回横山先生のレッスンと自主練習1回	第1・第3水曜、木曜9時～12時 自主練第2月曜	ピンポン	卓球と違うピンポン 笑いの多い楽しい時間	毎週金曜 9時～12時
歌声	抒情歌を先生のピアノ伴奏で合唱	第3火曜 午後2時～4時	釣り	海釣り 帰着後会食	第1土曜
パソコン	希望する内容を個人別にレッスン、ノートパソコン持参	第1・第3月曜 10時～12時	グラウンドゴルフ	市の広場で健康増進	毎週月曜(祭日を除く) 9時～10時30分
ぬり絵	大人のぬり絵の本を使い、楽しく集中力を増進	第2火曜 10時～12時	グルメ	美味しいお店を探して 楽しいランチを賞味	奇数月の第4月曜 ランチタイム
折り紙	楽しみながら、指先と頭を使い健康増進	通常午後2時～4時 ※午前10時～12時	デジカメ	良い写真を撮る勉強、外部撮影会、写真展に出品	毎週金曜 午後2時～4時
活き活き	ひとり暮らしの方の楽しい会食会	第2水曜 12時30分～2時30分	ギター	上野先生の指導 基礎から演奏曲の練習	毎週金曜 午後2時30分～4時30分
菜園	貸貸菜園2カ所使用、楽しい収穫祭	毎週土曜 10時～	ハイキング	初級と中級の2コース 楽しく健康増進	第1月曜 山行説明会
麻雀	健康麻雀、3～4卓使い 楽しい麻雀	毎週金曜 12時30分～4時30分	映画	洋画と邦画を交互に上映 鑑賞希望映画を募集	第2・第4月曜 上映開始1時30分～
男の料理	出来た料理と飲み物で希望者と会食(会員制)	第4火曜 11時～13時	初心者カラオケ	カラオケの好きな人たちが 楽しく健康増進	第2・第4水曜 午後1時30分～4時30分
癒し気功	田中靖子先生の指導 健康増進に最高	第2・第4水曜 10時～11時30分	囲碁	愛好家が集まり戦略戦術を駆使して健康増進	毎週火曜 午後1時30分～4時



サークル世話人連絡会

4. 社会奉仕活動

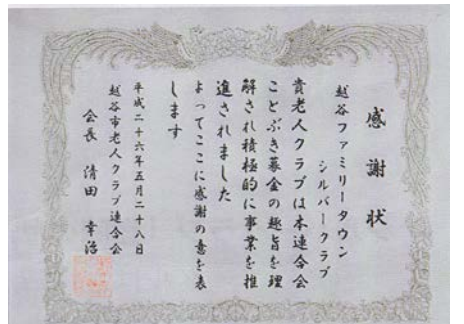
4-1. 学童見守りパトロール

ファミリータウン・シルバークラブでは、平成19年4月より、全国老人クラブ連合会の要請を受け、県老連・越老連、越谷警察、南越谷小、ファミリータウン自治会・子ども会育成会との連携のもと、会員有志による学童見守りパトロールを行っています。現在36名の有志が、協力委員として「市の広場」横の交差点で、小学生の下校時の安全を見守っています。子ども達とのふれあいや、6年間見守り続けた子ども達からの感謝の言葉や手紙は大きな喜びであり、励みになっています。黄色い帽子に黄色いベスト、黄色い横断旗を持った協力委員を見かけたら、“私も参加したい”と思って頂ける活動であればと考えています。全国的に老人クラブ活動に参加する会員が減少している中、ファミリータウン・シルバークラブは、これからも力を合わせて、この活動を続けていきたいと思ひます。



4-2. ことぶき募金

ことぶき募金の始まりは、シルバークラブ設立後、越老連の主要活動「1円玉募金活動」に参画し、初代大槻会長主導のもと各棟エントランスでの1円玉募金活動がスタートでした。しかし平成元年消費税法が施行され、1円玉も3%消費税で再度抛出が増えたため、募金本来の目的を尊重し、1円にこだわらず募金活動が続けるために名称が「ことぶき募金」に変更されました。以降毎年9月を募金月間として、会員及び一般の皆様から募金をいただいています。おかげ様で越老連単位クラブの中では3年連続最高額で感謝状をいただいています。天災見舞金、募金協力等の助け合い事業及び見守りパトロール事業に使われています。



4-3. 近隣清掃

越老連の社会奉仕活動として取り組まれている事業です。毎年9月15日～30日の間の1日を活動日とされていますが、当クラブは夏祭りの前日を「社会奉仕の日」と定めて、暑さ厳しい中、草取りをメインに、自治会、子ども会、育成会の皆様と一緒に交流しながら体を動かしています。当日は右の写真に写っている黄色の旗を立て頑張っています。



5. 自治会行事に参加

- ・資源回収 毎月1名の会員が回収作業の立会いに関わっています。
- ・清掃・花植え 毎回20名前後の元気な会員が参加して自治会・子ども会・育成会の皆様と一緒にファミリータウン周辺の環境整備及び美化活動に協力しています。
- ・夏祭り 「子ども室内ゲーム」をシルバークラブが担当し、毎年30名以上の会員が参加して子どもさん達と共に楽しいひと時を過ごしています。
夕方からは盆踊り会場にシニア席を設け交流を深めています。
- ・体育祭 毎年応援を兼ねて、2名の会員が救護係で小さな怪我の手当てをしています。



夏祭り伝承遊び



子ども達と花植・清掃



子ども達と楽しくゲーム

6. 越老連行事に参加

- ・素人演芸大会 毎年10月「ゆりのき荘」で開催される、南越谷地区、大相模地区大会にカラオケサークルの有志の皆さんが応援の方々と共に参加しています。
- ・グラウンドゴルフ大会 健康福祉村で毎年10月開催される大会に参加しています。
- ・趣味の作品展 2月初旬に「けやき荘」で開催されています。当クラブからも毎年名の方が大人のぬり絵、墨絵、写真等の作品を出展しています。

7. 健康づくり大学に参加

県老連主催の健康づくり大学は7月～12月の6か月間（全18回）の講座があります。当クラブは平成11年に初参加し、以降ほぼ毎年1～3名の方が入学され卒業しています。この大学には県内各地の老人会から、毎回60名以上が参加し高齢社会の実態や健康等に関する様々な講義や、グループ討議、又屋外での健康スポーツ実習などを通じ多くの知識を学びます。近年、越老連からは唯一、当クラブのみの参加ですが、外から私たちファミリータウンを客観的に見つめなおす機会になりました。多くの趣味のサークルがあるなど他の老人会に比べて素晴らしい点が多いとあらためて発見できました。

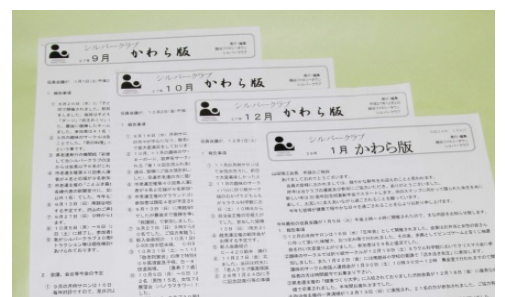
8. 地域活動に協力

折り紙サークルは、地域から要請を受けた下記3行事に参加しています。

- ・越谷市科学技術体験センター「ミラクル」（12月クリスマス会）
- ・南越谷地区フェスティバル 11月中旬
- ・南越谷小学校 体験学習（いきいき先生）1月下旬

9. 広報誌の発行

定例の役員会の報告を兼ね毎月、月初めに「かわら版」を発行しています。併せて、当月の趣味のサークルの活動予定表や、健康・福祉に関する情報を配信しています。



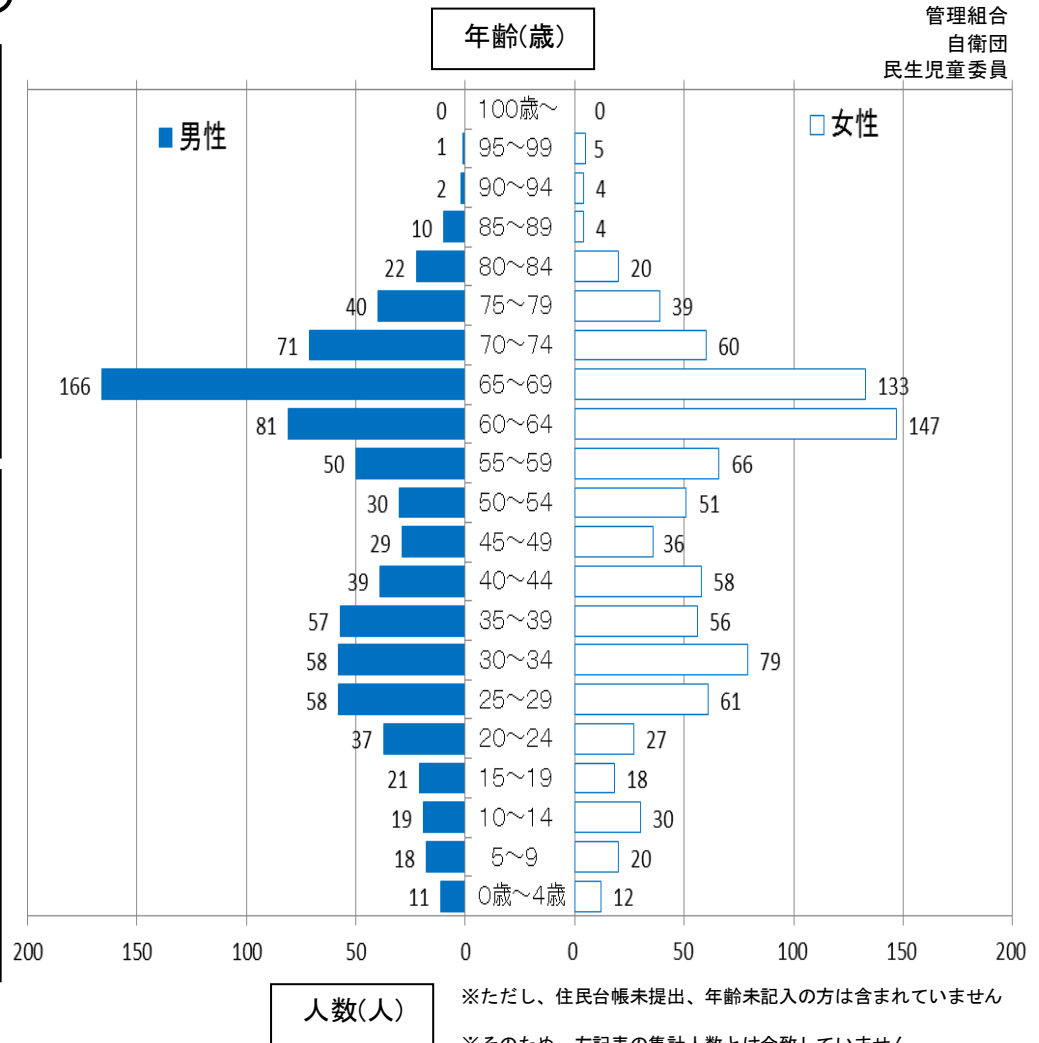
10. 各種記録データ

平成 27 年 12 月末現在
越谷ファミリータウン自治会
管理組合
自衛団
民生児童委員

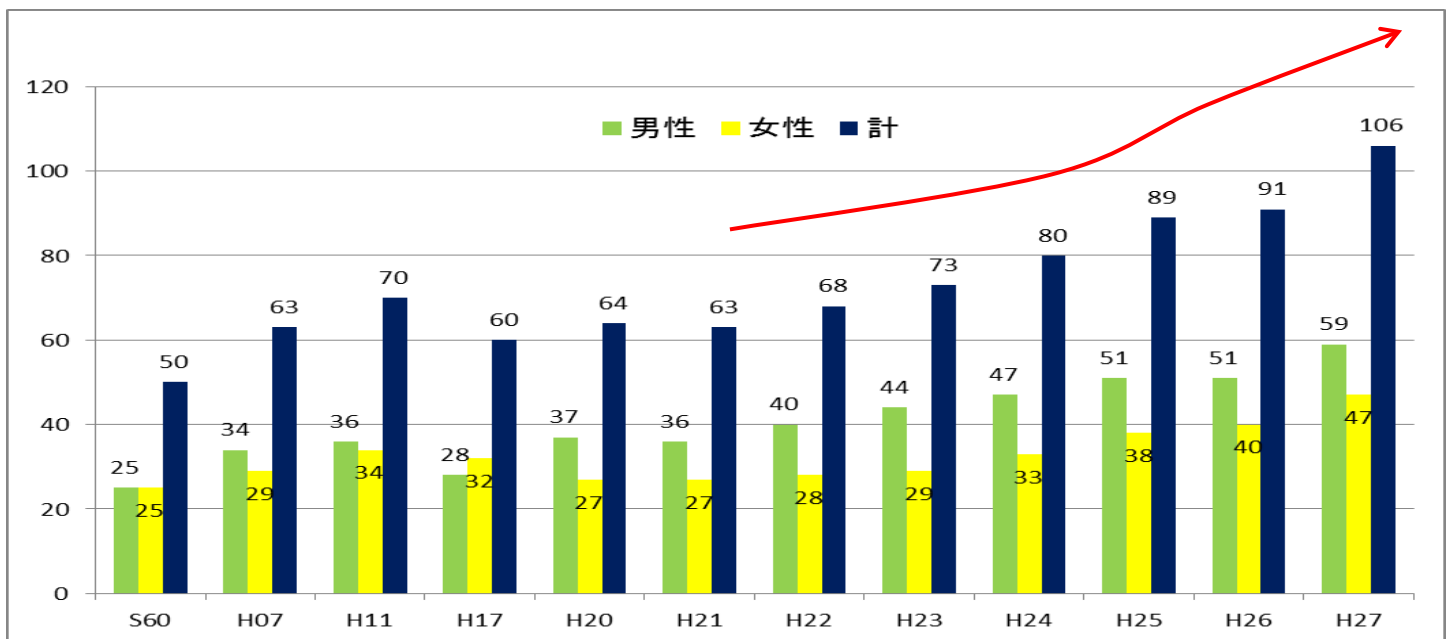
10-1. タウン内年齢構成グラフ

タウン内の年齢構成	
居住者全棟	1,752人
男性	820人
女性	932人
◆60歳以上	803人
男性	391人
女性	412人
(H27年12月末現在)	

60歳以上	: 803人	(45.4%)
65歳以上	: 575人	(32.5%)
70歳以上	: 276人	(15.6%)
75歳以上	: 145人	(8.2%)
80歳以上	: 66人	(3.7%)



10-2. シルバークラブ会員数の推移



昭和60年発足当時は会員数50名、平成7年の10周年時に60名を超え、平成17年(20周年)以降も、しばらく会員数は60~70名で推移し、平成21年以降の積極的な趣味のサークル活動拡大等で会員増強の軌道に乗ってきました。30周年を迎え現在の会員数106名と拡大しましたが、タウン内の60歳以上の組織率は13.2%とまだまだ低く、さらなる拡大を期待しています。

10-3. 各種活動記録

・シルバークラブ歴代会長

初代大槻会長以来、現在の15代山田会長まで7名の歴代会長のリードのもと、また、表への記載は割愛させていただきましたが、多くの役員の方々他関係者のご支援のお蔭で30周年を迎えることができました。

代目	氏名(敬称略)	歴任年号
初代～2代	大槻 介佐夫	S60～H2
3代～4代	松岡 元久	H3～H6
5代～6代	増渕 充子	H7～H10
7代	和田 道哉	H11～H12
8代	長島 喜一	H13～H14
9代～11代	増渕 充子	H15～H20
12代	浅沼 克之	H21～H22
13代～	山田 瑞江	H23～

・親睦旅行

宿泊旅行

日帰り旅行

年度	ホテル(旅館)名	行先	行先1	行先2
H21年	鴨川ユニバースホテル	房総鴨川温泉	箱根周遊	—
H22年	ホテル豊生	信州湯田中温泉	那須高原	—
H23年	太陽の里	九十九里	—	成田山初詣
H24年	彩り湯かしき「花と華」	湯西川温泉	群馬野反湖	成田山初詣
H25年	太陽の里「別邸海と森」	銚子市犬吠埼	東京スカイツリー	成田山初詣
H26年	「湯沢東映ホテル」	越後湯沢温泉	三浦半島	大井松田
H27年	「ホテル飛鳥」	寺泊岬温泉	北鎌倉	—

・埼玉県老人クラブ連合会主催「健康づくり大学」受講者一覧

年度	受講者氏名(敬称略)	年度	受講者氏名(敬称略)
H11年	戸田 良一	H21年	渡部 俊一
H14年	増渕 充子	H22年	上野 壽子
H16年	菅野 久朝、浅沼 克之	H23年	北川 まり子
H17年	田中 靖子、中村 京子	H24年	梅田 正樹
H18年	小川 七郎、竹内 聖宜、宇都木 幸太郎	H25年	内田 幸雄
H19年	城川 敬三	H26年	出雲 義信
H20年	熊倉 文雄	H27年	渋田 峰夫

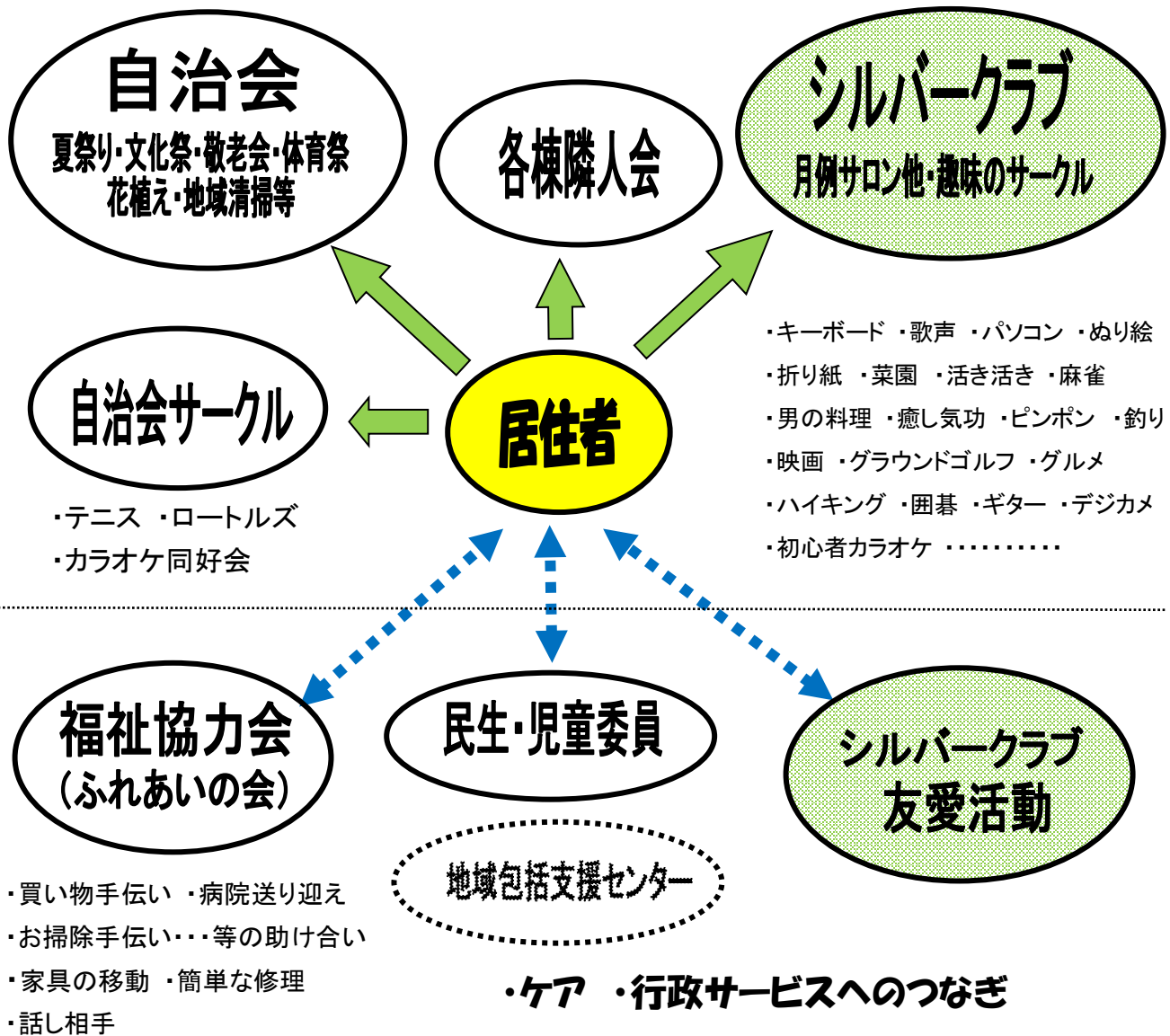
1 1. 編集後記

役員会で編集責任者に指名され、正直どのような記念誌にすべきか全くアイディアも湧かず、ほぼ1か月悩みました。11月21日初めて記念誌発行検討委員会を会長、副会長、顧問の方々と開催し、10周年、20周年時の記念誌を参考にA3両面2枚、8ページ程度で検討をスタートしました。しかし、進めていくうちに30年の歴史の積み重ねの結果が「今」であり、現在の活動を全て紹介し、全体像が俯瞰できる構成にしよう結論付けました。また同時に新しい会員増強につながればと期待し、全戸配布させて頂くことにしました。最終的に12ページと増え、編集も二転三転するなど役員の皆様にもご心配をおかけしました。カラー印刷で何とか綺麗に仕上がり、編集委員の皆様はじめ関係各位、自治会、管理組合のご理解・ご協力に感謝申し上げます。

【編集委員】 会長：山田瑞江、副会長：小川七郎、副会長：梅田正樹、顧問：熊倉文雄、
会計：浜田清子、理事：出雲義信、編集責任者 理事：内田幸雄

【発行責任】 越谷ファミリータウン・シルバークラブ 平成28年2月吉日

タウン内活動のしくみとサポート



【生き活きと、楽しく毎日を過ごし、万一の場合にも安心して暮らせるファミリータウン】

今や、800名強の60歳超の高齢者は、全居住者の45%以上を占める中心的な世代です。少子高齢化のモデルのようなファミリータウンですが、反面まだまだ現役の方を含め「元気な高齢者」が非常に多いコミュニティと言えます。その中でシルバークラブの会員は、平成27年12月末現在106名と毎年増員しており、越老連の中でも表彰されるほどです。しかしタウン内組織率は13%強とまだまだ少なく、会員増強は重要な方針であることに変わりはありません。皆さんPPKという言葉をご存知と思いますが、理想の人生の過ごし方として、死ぬまで元気でピンピンと、最後はコロリとお別れするという意味ですね。ファミリータウンの中では上記のイラストのように現在「20の趣味のサークル」や「自治会のサークル」等、元気で楽しく生き活きと過ごす【場】は、たくさんあります。

一方、万一の場合の助け合いの【仕組み】もたくさんあります。困ったときは遠慮なく声を掛け合える、決して家の中に閉じこもらない、日頃の繋がりが最も大切なことかも知れません。